



J

デジタルサウンドプロジェクター

*YSP-2700**[YSP-CU2700 + NS-WSW120]*

簡易接続・操作ガイド

musicCast



JA

本書の記載について

本書では、テレビとBD/DVDレコーダーを接続し、再生を楽しむまでの手順を案内します。詳しい内容については取扱説明書をご覧ください。

ご使用前に「安全上のご注意」(取扱説明書 110 ~ 114 ページ)を必ずお読みください。

外部機器の機能や設定、操作については、ご使用の外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

-  では、知っておくと便利な補足情報を記載しています。
-  では、使用上の注意点や機能上の制約を記載しています。

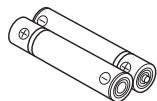
付属品を確認する

ご使用になる前に、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

リモコン



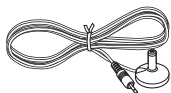
単 4 乾電池 (2 本)



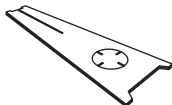
光デジタルケーブル (1.5m)



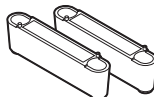
インテリビームマイク
(6m)



簡易マイクスタンド



スタンド (2 個)



滑り止めパッド (4 個)
(サブウーファー横置き用：
取扱説明書 19 ページ)



取扱説明書



簡易接続・操作ガイド
(本書)



MusicCast セットアップガイド



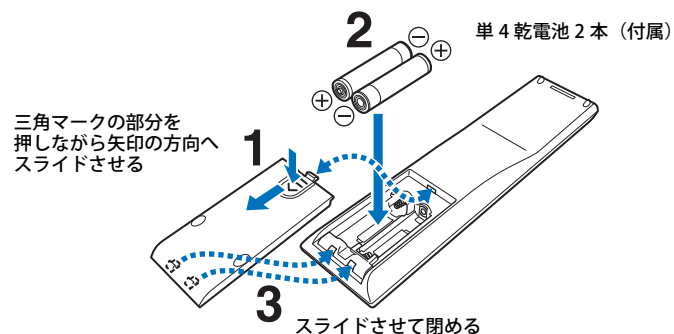
その他接続に必要なもの

- ・ テレビ
- ・ BD / DVD レコーダー
- ・ HDMI ケーブル (2 本)

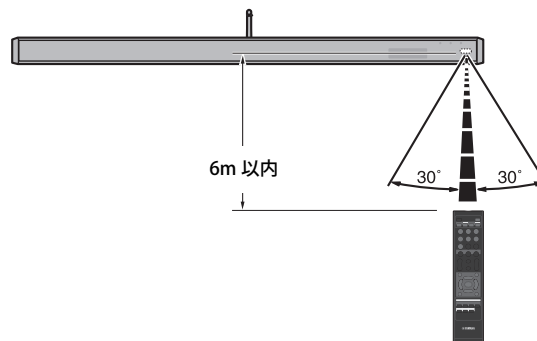
リモコンを準備する

電池を入れる前やリモコンを使う前に、「安全上のご注意」の「電池」(取扱説明書 112 ページ) および「リモコン」(取扱説明書 113 ページ) をよくお読みください。

電池を入れる



操作範囲



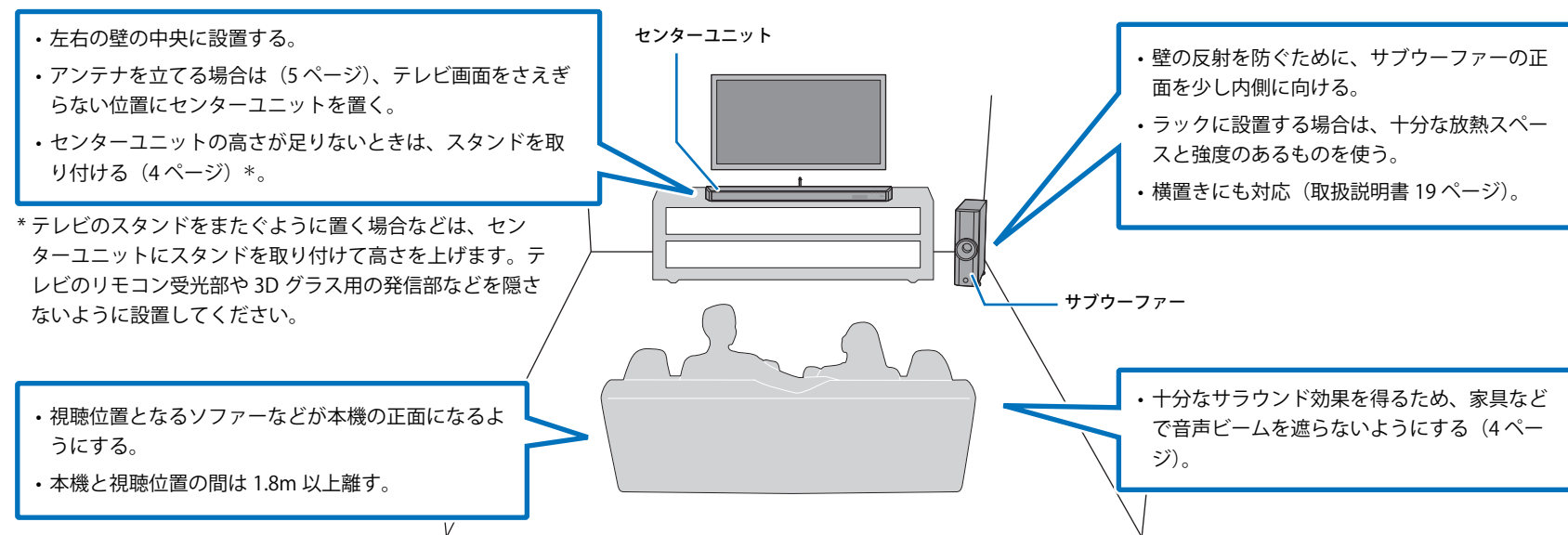
① YSP-2700 を設置しましょう

本機は音声ビームを壁に反射させてサラウンド効果を生み出します。十分なサラウンド効果を得るためには、本機と視聴位置、およびリスニングルームの壁との位置関係が重要です。3～4ページを参考にして設置してください。また、背面のスペースが狭いラックなど、設置する場所によっては、先に外部機器と接続してから設置するほうが簡単な場合があります。外部機器との接続については、6ページをご覧ください。

ご注意

- ・センターユニットは、地震などの振動やお子様の接触などで本機が落下しないように安定した広い台の上に設置してください。
- ・サブウーファーは非防磁のスピーカーを搭載しています。ハードディスクドライブなどを近くに設置しないでください。
- ・センターユニットやサブウーファーを他の再生機器などと直接重ねないでください。熱や振動により機器が故障することがあります。

おすすめの設置位置



■ センターユニットとサブウーファーの無線接続について

本機のセンターユニットとサブウーファーは無線で通信します。センターユニットとサブウーファーのあいだに金属板があったり、金属製のラックにサブウーファーを置いたりするとサブウーファーの性能が十分に発揮されないことがあります。設置状況により音が途切れたりする場合は、センターユニットとサブウーファーを有線接続します（取扱説明書 25 ページ）。

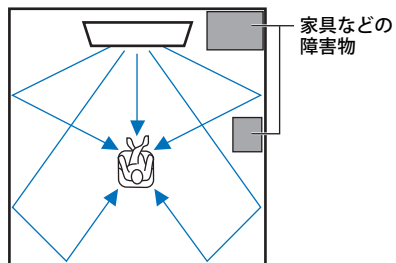
■ 設置位置の例

本機は下図のように音声をビーム化して出力します。十分なサラウンド効果を得るために、下図のように家具などの障害物がビーム経路と重ならない場所に設置してください。

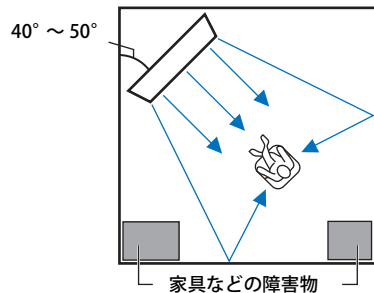


- 本機を左右の壁の中央やコーナー以外に設置する場合の例については、取扱説明書 14 ～ 16 ページをご覧ください。

本機を壁と並行に設置する場合



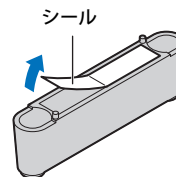
本機を部屋のコーナーに設置する場合



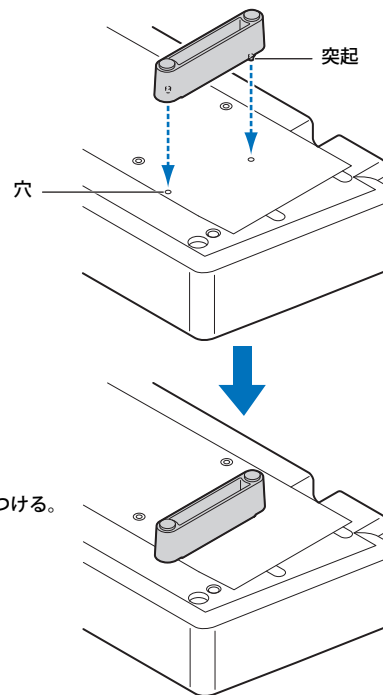
■ スタンドを取り付ける

センターユニットの高さが足りないときは、付属のスタンドを取り付けて高さを上げます。

1 スタンドのシールをはがす。

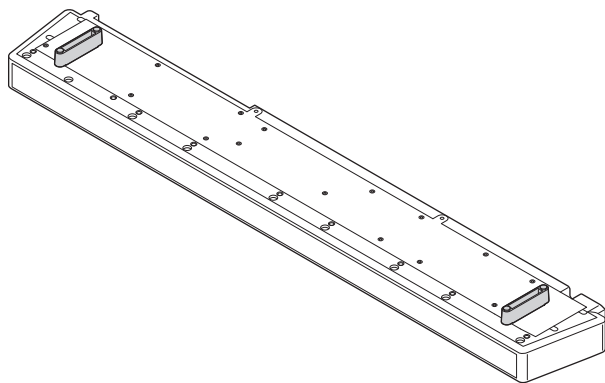


2 スタンドの突起を底面の穴に合わせてはめ込む。



しっかり押しつける。

左右のスタンドを取り付けてください。

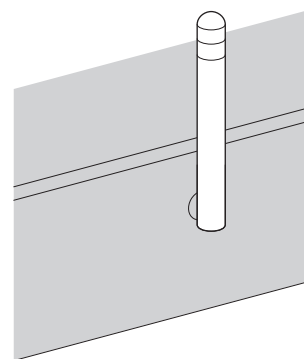


□ スタンドを取り外す

スタンドを垂直に引き抜きます。

■ アンテナを立てる

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続してネットワークを利用する場合は、本機背面のアンテナを立てます。



アンテナの根元を
押さえながら垂直に立てる



- アンテナに極端な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 可動部分の向きを確認して、正しい方向に曲げてください。
- アンテナを取りはずさないでください。



- 無線ネットワークについては、取扱説明書 23 ページをご覧ください。

② YSP-2700 を接続しましょう

テレビ、BD / DVD レコーダーを接続する

ケーブルの接続は以下の順番で行ってください。

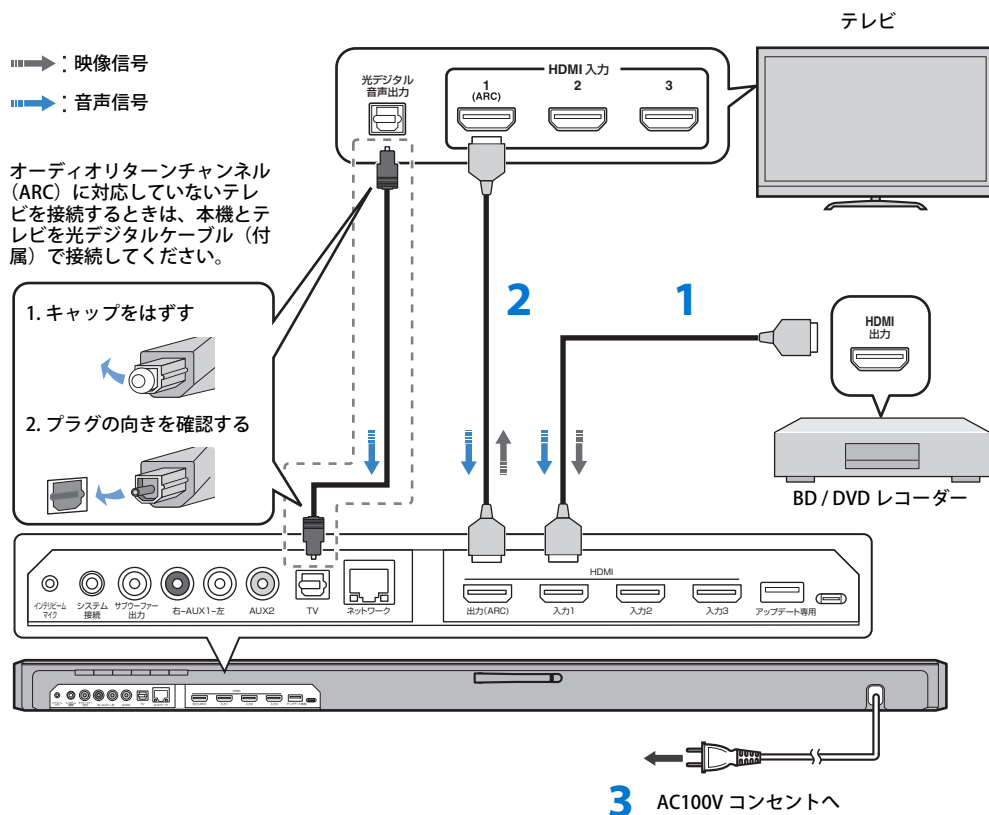
映像信号

音声信号

オーディオリターンチャンネル (ARC) に対応していないテレビを接続するときは、本機とテレビを光デジタルケーブル (付属) で接続してください。

1. キャップをはずす

2. プラグの向きを確認する



3 AC100V コンセントへ

ゲーム機など、他の再生機器を接続する場合は取扱説明書 21 ~ 22 ページをご覧ください。

1 HDMI ケーブル (別売)

BD / DVD レコーダーのデジタル映像・音声を本機に入力します。



・本機は著作権保護技術 HDCP2.2 に対応しています。

2 HDMI ケーブル (別売)

BD / DVD レコーダーのデジタル映像をテレビに映します。



・4K 映像をお楽しみになる場合は、HDCP2.2 対応テレビの HDMI 入力端子 (HDCP2.2 対応の端子) に接続してください。

3 電源コード

すべての接続が終わったら、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビの場合

- ・HDMI ケーブルはテレビのオーディオリターンチャンネル対応端子 (「ARC」などの表示のある端子) に接続してください。
- ・オーディオリターンチャンネル (ARC) を有効にするには、本機の HDMI コントロール機能をオンにしてください (取扱説明書 77 ページ)。

オーディオリターンチャンネル (ARC) とは?

- ・通常、テレビの音声を本機で再生するには、HDMI ケーブルとは別に音声ケーブルの接続が必要になります。しかし、テレビが ARC に対応している場合は、本機からテレビに映像を送送する HDMI ケーブルを使って、テレビの音声を本機に入力することができます。

本機を有線でルーターに接続する場合は、ネットワークケーブルを本機のネットワーク端子に接続します。詳しくは、取扱説明書 23 ページをご覧ください。



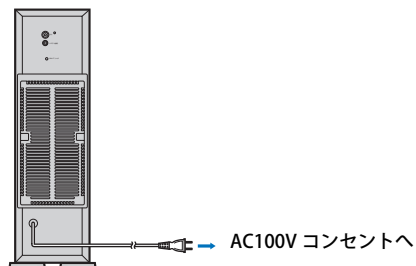
③ YSP-2700 の電源をオンにしましょう

ここでは、センターユニットとサブウーファースの無線接続や、本機をネットワークに接続する方法を説明します。

サブウーファースを無線接続する

サブウーファースの電源コードをコンセントに接続し、センターユニットの電源をオンにすると、センターユニットとサブウーファースが無線接続されます。

1 サブウーファースの電源コードをコンセントに接続する。



2 電源 (⏻) キーを押して、センターユニットの電源をオンにする。



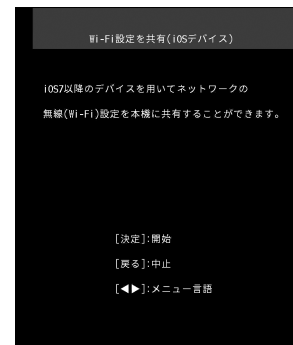
- 接続インジケータが正常に点灯しない場合は、センターユニットとサブウーファースを手動でペアリングしてください。詳しくは「センターユニットとサブウーファースのペアリング」(取扱説明書 102 ページ) をご覧ください。

電源をオンにしたときの TV 画面表示について

ご購入後はじめて本機の電源をオンにすると、右の画面がテレビに表示されます (前面ディスプレイには「ViewScreen」と表示されます)。



- 画面が表示されないときは、テレビのリモコンの入力切替ボタンで本機からの映像に切り替えてください。本機とテレビを 6 ページのように接続した場合は、テレビのリモコンの入力切替ボタンで「HDMI 入力 1」を選びます。



iOS デバイス (iPhone など) を画面の案内に従って操作すると、無線ネットワークに接続できます。

モバイル端末にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリ* を使うと、本機をより簡単にネットワークに接続できます。戻る (⏮) キーを押してこの画面をキャンセルし、「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する (本機を MusicCast 機器として登録する)」をご覧ください。

* 「MusicCast CONTROLLER」はモバイル端末専用アプリ (無料) です。



- 本機のネットワーク端子とルーターを接続している場合 (有線ネットワーク接続)、この画面は表示されません。
- ネットワークの詳細については、取扱説明書 46 ページをご覧ください。



MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する (本機を MusicCast 機器として登録する)

モバイル端末に MusicCast CONTROLLER アプリをインストールして本機をネットワークに接続し、MusicCast 機器として登録します。

本機をネットワークに接続すると、インターネットラジオやパソコン（サーバー）などの音楽を MusicCast CONTROLLER アプリを操作して再生できます。



- お使いになるモバイル端末がご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- MusicCast CONTROLLER アプリの画面は iPhone の表示例です。
- MusicCast CONTROLLER の画面、メニュー名称などは予告なく変更される場合があります。

1 モバイル端末に MusicCast CONTROLLER アプリをインストールし、アプリを開く。

Apple Store または Google Play で「MusicCast CONTROLLER」を検索し、インストールしてください。

2 「設定する」をタップする。



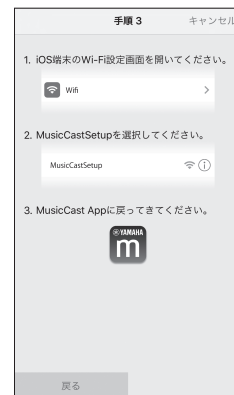
3 本機の電源をオンにし、「次へ」をタップする。

4 本機の前面ディスプレイに「CONNECT」と表示されるまで、本機の CONNECT キーを押す。

本機の前面ディスプレイに「CONNECT」と表示されたら、「次へ」をタップします。

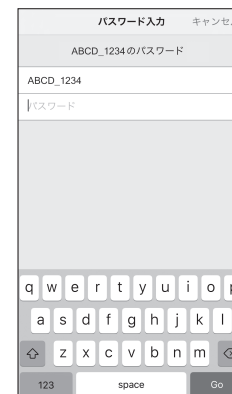


- 以下の画面が表示された場合は、画面の案内にしたがってネットワークを設定してください。



1. モバイル端末のホームボタンを使って、ホーム画面に戻る。
2. 「設定」から「Wi-Fi」を選ぶ。
3. 「ネットワークを選択…」から「MusicCastSetup」を選ぶ。
4. ホームボタンを使って MusicCast Controller アプリに戻る。

- 以下の画面が表示された場合は、本機を接続するネットワークを選び、ルーターのパスワード（暗号化キー）を入力してください。
ルーターのパスワード（暗号化キー）は、ルーター本体などに表示されています。ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。



5 本機を MusicCast 機器として登録するために、以下の項目を設定する。

- ロケーション名（自宅、A さんの家など）
- 設置した部屋の名前、写真

ロケーション名、設置した部屋の名前、写真は後から変更できます。

これで、MusicCast CONTROLLER アプリを使ったネットワークの接続が完了し、本機は MusicCast 機器として登録されました。



- MusicCast CONTROLLER アプリに別の MusicCast 機器をすでに登録してある場合、本機をアプリに追加するにはルーム選択画面で⚙️(設定)をタップし、「新しい機器を登録する」を選んでください。



④ サラウンド効果を自動設定しましょう（インテリビーム）

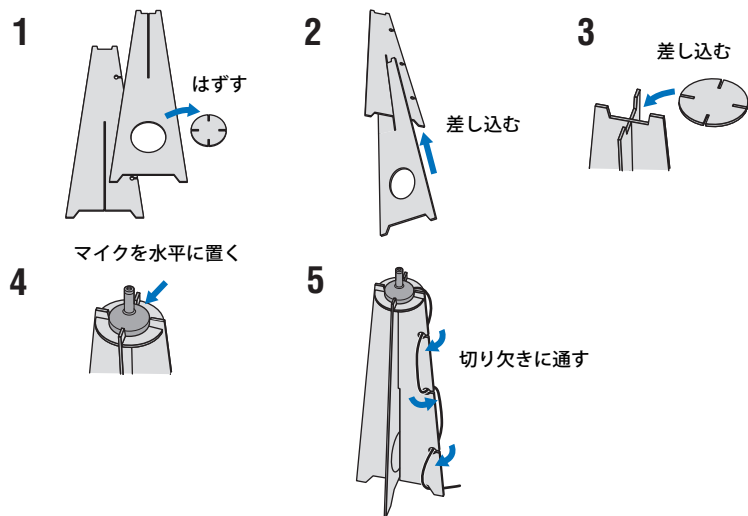
本機を最適な視聴空間でご利用いただくために、最初に「インテリビーム」機能を使って、各チャンネルを調節してください。



- ・インテリビームマイクは、延長ケーブルを使って接続しないでください。測定が正しくできないことがあります。

インテリビームマイクを設置する

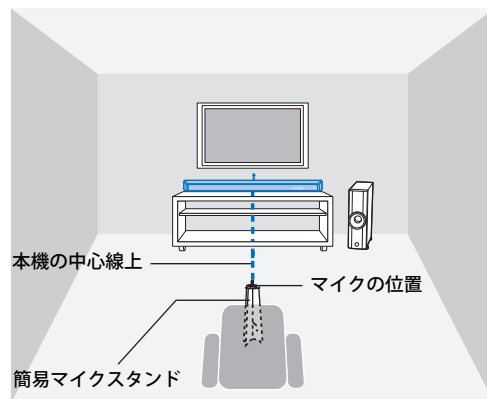
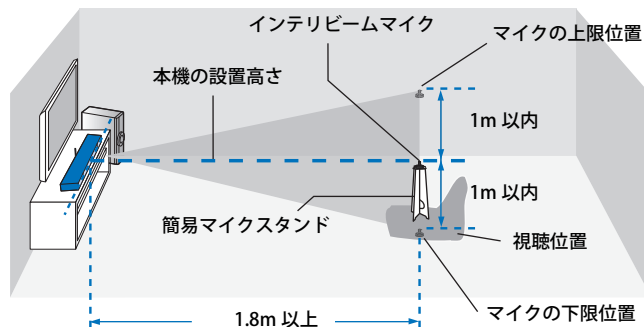
1 付属の簡易マイクスタンドを組み立て、インテリビームマイクを置く。



2 簡易マイクスタンドとインテリビームマイクを視聴位置に設置する。



- ・マイクはできるだけ視聴位置の耳の高さに近づけてください。
- ・マイクは床と水平になるように置いてください。
- ・簡易マイクスタンドの代わりに、カメラの三脚や椅子などをお使いいただくこともできます。



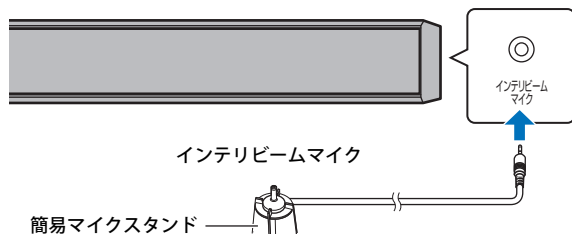
ソファの背もたれなど、マイクと壁の間に障害物がある場合には、障害物を移動したり、マイクをより高い場所に設置してください。壁に接している家具は壁と見なしますので、障害物ではありません。

測定する

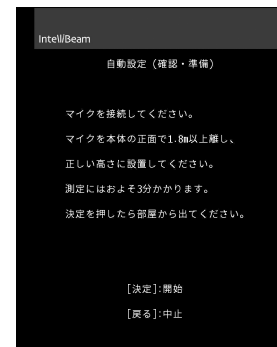


- 測定中は大きなテスト音が出力されます。自動設定は、小さなお子様がいなくて、部屋に入ってくる可能性がないときに行ってください。聴覚障害などの原因となる場合があります。
- 壁にカーテンやブラインドなどがかかっている部屋では、ビーム設定が正確に行われないことがあります。そのような部屋で測定する場合、以下の手順で設定することをおすすめします。
 - ① カーテンやブラインドを開ける
 - ② 「ビーム調整」をする（取扱説明書 31 ページ）
 - ③ カーテンやブラインドを閉める
 - ④ 「音質調整」をする（取扱説明書 31 ページ）
- エアコンなど動作音を発生する機器がある場合は、電源を切ってください。

- 1 本機とテレビの電源をオンにする。
- 2 テレビの入力を、本機を接続したテレビの入力端子（HDMI 1 入力など）に切り替える（取扱説明書 26 ページ）。
- 3 インテリビームマイクを本機背面のインテリビームマイク端子に接続する。



インテリビームマイクを接続すると、以下の画面になります。



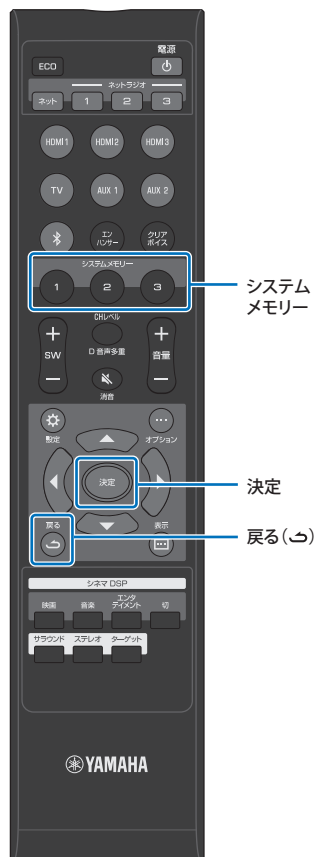
次の2つの設定を自動的に調節します。

ビーム調整	部屋の形状や大きさなどに応じて、各チャンネルのビーム角度を最適な設定値に調節します。
音質調整	部屋の音響特性などを測定し、各チャンネルの音色を最適な設定値に調節します。

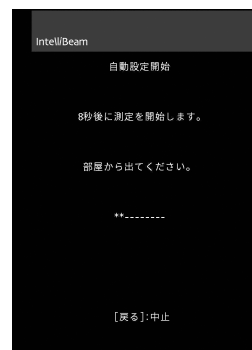
設定メニューから「ビーム調整」と「音質調整」を個別に測定することもできます（取扱説明書 31 ページ）。



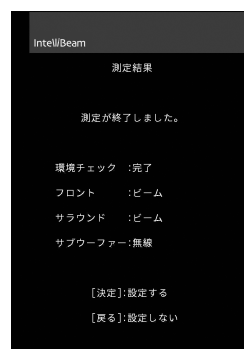
- 次の手順を実行したあと、部屋から出てください。部屋の中にいると、ビーム経路を遮ってしまったり、マイクが声や音を拾ってしまったりして、測定が正しくできないことがあります。



4 決定キーを押して測定を開始し、10 秒以内に部屋の外に出る。



(約 3 分後) 測定中の項目にしたがって、画面が自動的に切り替わります。



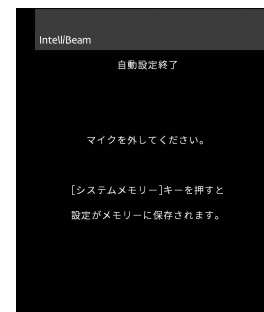
測定が終了すると終了音（チャイム音）が出力されます。



- 測定開始から終了まで、約 3 分かかります。
- 測定中に「自動設定」を中止するとき、または測定結果を設定しないときは、戻る (⏮) キーを押してください。
- エラー音（ブザー音）が鳴ったときは、画面のエラーメッセージを確認し、「エラーメッセージが表示されたら」（取扱説明書 32 ページ）をご覧ください。

5 決定キーを押す。

測定結果を本機に設定し、保存します。



- システムメモリー 1、2 または 3 キーを押して、複数の測定結果を保存することもできます。
システムメモリー 1 キーを押したときは、「M1 Saving」と表示され、設定が保存されます。
- 測定中に環境ノイズを拾った場合は、「自動設定終了」画面に再設定をおすすめするメッセージが表示されます。決定キーを押して終了し、もう一度自動設定を行ってください。

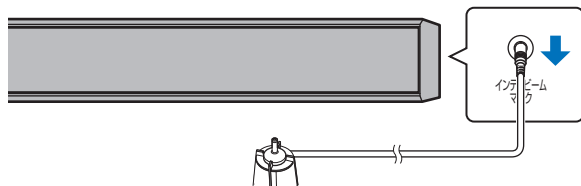


- システムメモリー機能については、取扱説明書 42 ページをご覧ください。

6 マイクをはずす。

「自動設定終了」画面が消えます。

インテリビームマイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。





⑤ 再生しましょう

テレビを視聴する

- 1 テレビのリモコンで放送局を選ぶ。
- 2 TV キーを押す。

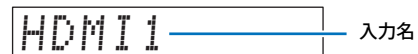


- テレビから音が出ている場合は、テレビの音声出力先の設定をテレビ以外（本機への出力）に設定してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビと本機を連動させる
HDMI コントロール（リンク）機能に対応したテレビを使用している場合、テレビのリモコンで本機を操作することができます。設定については取扱説明書 33 ページをご覧ください。

BD/DVD を再生する

ここでは、「テレビ、BD / DVD レコーダーを接続する」（6 ページ）のように接続した場合を例にとり、再生のしかたを説明します。

- 1 BD / DVD レコーダーの電源をオンにする。
- 2 HDMI1 キーを押して BD / DVD レコーダーを選ぶ。



- 3 テレビのリモコンでテレビの入力を「HDMI 入力 1」に切り替える。
- 4 BD/DVD レコーダーで付属のサラウンド確認用 DVD を再生する。
- 5 音量（+ / -）キーを押して、音量を調節する。
- 6 サラウンドキー、ステレオキー、ターゲットキーなどを押して、お好みのサウンドに設定する（取扱説明書 36 ページ）。



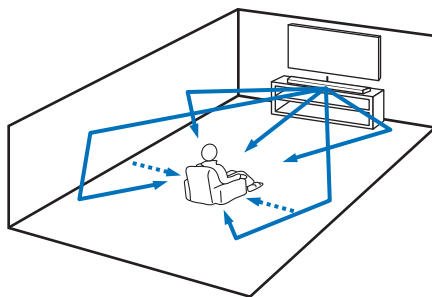
再生できない場合は

- 本機と BD / DVD レコーダーの接続を確認してください。
- BD / DVD レコーダーの音声出力設定がデジタル音声出力（ビットストリーム）に設定されているか確認してください。
- テレビ側の入力为本機からの入力になっているか、確認してください。



サラウンドで再生する

5 チャンネルの音声ビームでサラウンドの音場空間をつくり出します。



← 水平方向のビーム
 ←..... フロントと後方の音声ビームから
 つくり出されるチャンネル

- 1 サラウンドキーを押して、サラウンド再生に切り替える。

前面ディスプレイに「SURROUND」と表示されます。

SURROUND

立体的なサラウンド音声を楽しむ (シネマ DSP)

再生する音源やお好みに合わせてシネマ DSP プログラムを選んでください。ヤマハ独自の音場創生技術（シネマ DSP）を用いて、映画館やコンサートホールさながらのリアルな音場を簡単に再現し、自然で立体的な視聴空間をお楽しみいただけます。

- 1 サラウンドキーを押して、サラウンド再生に切り替える。
- 2 シネマ DSP キー（映画、音楽またはエンタテインメント）を繰り返し押してプログラムを選ぶ。

選択したプログラムが前面ディスプレイに表示されます。



- シネマ DSP を使わずにサラウンド再生する場合は、切キーを押します。
- 詳しくは、取扱説明書 37 ページをご覧ください。

本機はほかにも多くの機能を搭載しています。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

Manual Development Group
© 2016 Yamaha Corporation

2018年5月改訂 KS-B0
Printed in Indonesia

VCS1810